



川口けいすけの

グリーンズ川越

☺第22号☺

編集/発行 川口 けいすけ☆30歳☆ 〒350-0002 川越市古谷本郷1492-5 J2-201
TEL 080-3025-5776 FAX 049-235-5859 E-mail: umetarou10@msn.com

川越市第3次総合計画スタート 前期基本計画 平成18年度～平成22年度



総合計画とは？

総合計画とは長期的な視点で、市のまちづくりに関する全分野の基本的な方向性を示したもので、地方自治法で定められた市の最上位の計画となるものです。個々の詳細な計画は、都市計画マスタープラン・緑の基本計画など、総合計画の下に位置する計画の中に定められています。

川越市の総合計画は、1983年に最初の総合計画ができ、1996年の第2次総合計画を経て、今回の第3次総合計画がつくられています。行政は、この計画に沿って、社会の動きに対応し、自らのあり方を考え、市民と共にまちづくりを進めていくことになります。

それでは、残念ながら普段皆さんがあまり見る機会のない総合計画の中身を少しご紹介します。

行財政改革などの共通施策と、分野別の施策として1章～6章まで分かれており、例えば第3章の都市基盤・生活基盤の項では「人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち」と題して、第1節『都市の魅力の創造』第2節『交通ネットワークの構築』第3節『自然と調和した基盤づくり』のようにいくつかのテーマ別に分けています。さらに、この節をいくつかの施策に分け、例えば、都市拠点の整備と題して、現状と課題を述べた上で、①中心市街地活性化基本計画の推進、②3駅連携強化の推進、③中央通り地区の整備、④歴史的町並み地区の整備、のように推進したい施策が書かれています。

第5章の環境の分野でも同じく「人と自然がともに生きる、地球環境にやさしいまち」という題名に続き、3つの節が書かれています。第1節『総合的かつ計画的な環境行政の推進』第2節『循環型社会の構築』第3節『環境保全対策の推進』、さらに、これをごみの減量・資源化や自然環境の保全などの項目に分けています。そして、その中に自然環境の保全

の項目であれば、①緑の保全と活用、②緑の創出、③水辺環境の保全と、推進したい施策が書かれています。

なんとなく総合計画というものの想像がつかましたでしょうか？

総合計画はこんな所に置いてあります！

図書館・市役所・市役所出張所・公民館等
・市のホームページ(おそらく近日公開)

第三次総合計画はできたばかりのため
詳しくは市役所にお問い合わせ下さい。

こんなところに注目したい！

総合計画は、市の方向性を示す重要なものではあっても、最終的な「形」とするには、より具体的なプランが必要です。大事なのは、例えばどのように実行すれば「水辺環境の保全」ができるのか！ということだったり、「緑の創出」とはという概念の部分(つまり、花壇を増やすことは緑の創出ではあっても自然環境の保全とはいえないのでは？)

分であったり、するのではないのでしょうか。

多くの自治体で総合計画は、「つくったらおわり」の無用の長物のように言われているそうです。

総合計画を単なるスローガンにしないために、実施計画が明確な業績の評価尺度を持ち、役所各部門の業績目標としてこれが使用されなければいけません。

スタートしたばかりの第三次川越市総合計画が市民にとって望ましいまちづくりの指針となるよう、我々がしっかりチェックしていきましょう！

